

# 北九港&空 NEWS

発行 国土交通省 九州地方整備局  
北九州港湾・空港整備事務所  
801-0841 北九州市門司区西海岸1-4-40  
Tel;093-321-4631 Fax;093-322-1007

## ○中学生の職場訪問を受ける

板櫃中学校の1年生5名の訪問を受けました。

授業の一環として門司港地区の職場を訪問して、当事務所にも来訪されました。

どんな仕事？楽しい仕事ですか？やりがいがありますか？

などの質問をして熱心にメモを取っていました。

写真



## ○「九州地方整備局事業評価監視委員会」開催される

当事務所の平成24年度事業評価監視委員会での審議案件は2件ありました。1件目は平成24年12月6日に、北九州港新門司地区複合一貫輸送ターミナル整備事業（再評価）の審議を諮りました。審議の結果、事業継続で了承されました。

2件目は平成25年2月14日に、関門航路／北九州港戸畑地区航路整備事業（事後評価）の審議を諮りました。審議の結果、事業実施効果の発現が確認されるため、了承されました。

詳細は九州地方整備局HP参照。 [http://www.qsr.mlit.go.jp/s\\_top/jigyo-hyoka/](http://www.qsr.mlit.go.jp/s_top/jigyo-hyoka/)

## ○港湾の低炭素化を推進し、非常時にも電力供給を可能にするシステムの実証に関する選定結果について（災害等非常時にも効果的な港湾地域低炭素化推進事業）

本事業は、再生可能エネルギー発電設備と蓄電池等を組み合わせ、通常時には、港湾空間の温室効果ガス削減効果を実証するとともに、非常時においては、港湾施設への電力供給を確保することにより港湾機能の維持を図るための最適なシステムを構築し、各地の港湾へ普及させることを目的としています。

なお、非常時の実証については、停電時においても、独自の電源を確保することにより、円滑な避難や一定の港湾物流の機能の確保が可能となるようなシステムの検証を行うこととしています。

## 「北九州港での選定」

事業者：株式会社ソルネット

概要：北九州港において、新たに導入する太陽光発電設備や蓄電池、及び隣接する風力発電設備を用いて低炭素化を推進するとともに、非常時には大型荷役機械、ふ頭照明施設等への電力供給を行うシステムについて、実証を行う。

詳細は国土交通省 HP 参照 [http://www.mlit.go.jp/report/press/port06\\_hh\\_000084.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000084.html)

○平成24年度補正予算で北九州空港のエプロンを増設します。

北九州空港のエプロンは、平成24年7月から釜山便の国際線開設に始まり、予備機（SFJ）の常駐などでナイトステイ時にフルスポットの状況である。

この状況により、深夜及び早朝にかけて国際貨物便やチャーター便の寄港に伴い、縦列駐機を余儀なくされる。

今後のスポット運用に支障が生じないようにNo.7スポットのエプロンをコンクリート舗装にて実施する

平成25年度完了予定

写真



エプロン増設位置



エプロンへの駐機状況

編集後記 新若戸道路が開通してから半年が過ぎました。朝夕の混雑が解消されて市民生活の向上、物流の円滑化に寄与していると思っています。

さて、北九州港湾・空港整備事務所で発行していましたが「直轄北九港」を新たに「北九港&空 NEWS」に衣替えして四半期毎の発刊を目指していきます。

ご意見等ありましたらお寄せ下さい。